

フォーラム那須塩原 開館にあたって

フォーラム那須塩原のオープンに際し、一言ご挨拶を申し上げます。私たちは、山形・仙台・福島・盛岡・八戸の東北5都市で映画館を運営しているフォーラムネットワークと申します。今回、縁あって、私たちの6都市目の映画館、フォーラム那須塩原を開館させることができました。

私たちの創業は、25年前、山形の映画ファンが、地方では観ることができない映画を観客の手で上映しようと「市民の映画館を建設する会」を結成し、100席と50席の小さな映画館を造ったのが始まりです。映画を愛する人が観たい映画、映画を愛する人たちにこそ観てほしい映画を上映し続けて、今年の夏で東北5都市・41スクリーンとなりました。今回の那須塩原で計50スクリーンとなります。

日本全国の映画館は、1993年の1,734スクリーンを底に年々増加を続け、近年は3,400スクリーンを超えています。しかし、大都市近郊の人口密集地では、ひと駅ごとにショッピングセンターとシネコンが造られ過当競争が起こっているのに、地方の小都市では映画館がどんどん姿を消しているというのが実態です。

今回、ビバホームの移転・拡大に伴い、敷地内にシネコンの建設が計画されましたが、大手のシネコン運営会社はどこも応じることがなく、地方都市山形に本社を置く私たちが運営させていただくことになりました。私たちは、全国一斉ロードショーの娯楽映画と、単館系・ミニシアター系と呼ばれるフィルム本数の少ない小規模な映画を、同じくらい力を入れて上映する、ちょっと変わった映画館です。私たちの創業の原点は「映画ファンのための映画館」です。映画ファンを愛し、映画ファンに愛される存在でありたいと考えています。この那須塩原の地でも、この原点を貫きたいと思います。たとえ地方の小都市でも、映画ファンが力を合わせれば、ロードショーも単館系も上映するスタイルの映画館は成り立つ。私たちはフォーラム那須塩原を第2の創業と位置付けて取り組み、成功させたいと考えています。フォーラム那須塩原のオープンに期待を寄せていただいている映画ファンのみなさん、いい映画をたくさん観ることで、映画ファンの層を厚く確かなものにするべく、ご協力をお願い致します。

フォーラムネットワーク代表 長澤 裕二（『フォーラム・ラヴィ』創刊号より）